

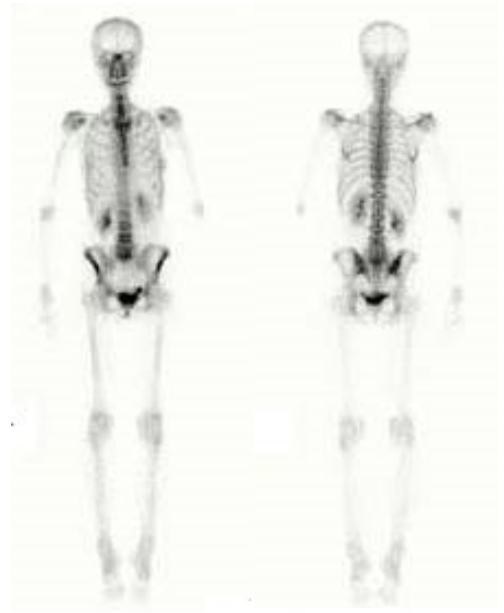
骨シンチグラフィ

○核医学検査(RI検査)とは？

RI検査とは、ガンマ線という放射線を放出する検査薬を注射し、臓器や病変部に取り込まれた検査薬から放出されるガンマ線をカメラで撮影する検査です。投与される検査薬から放出される放射線は極めて微量で、副作用の心配はありません。検査薬は、速やかに生理的排泄によって体内から排出されます。

○骨の検査・骨シンチグラフィとは？

骨シンチグラフィは骨シンチとも略され、核医学(RI)検査の中でもよく行われる検査です。X線検査がとくに骨の形を見るのに適しているのに対して、この検査は、骨の形には変化がみられない骨病変や骨折などを写し出すことができるのが特徴です。病変の部分によく取り込まれる放射性医薬品を注射し、そこから出る放射線を検出器(カメラ)でとらえて全身骨の異常を調べます。



○検査前と検査終了後の注意点は？

食事や飲み物の制限はありません。検査前後は普段どおりお過ごし下さい。

検査の方法と流れ

1. 検査薬を静脈注射します。
(1.5ccから2.0ccのわずかな量です。)
2. 検査薬が全身の骨に取り込まれるまで**約3時間待ちます。**
この間はご自由にお過ごし下さい。
3. 検査開始の直前にトイレに行って排尿します。
尿に検査薬が含まれていますので、衣服に付着しないようご注意ください。
4. 検査衣に更衣して、検査ベッドに横になります。
撮影の間は、リラックスして動かないようにしましょう。
検査時間は30分～40分です。



妊娠中、妊娠の可能性のある女性、授乳中や乳幼児がいる方はあらかじめ医師にお知らせ下さい。

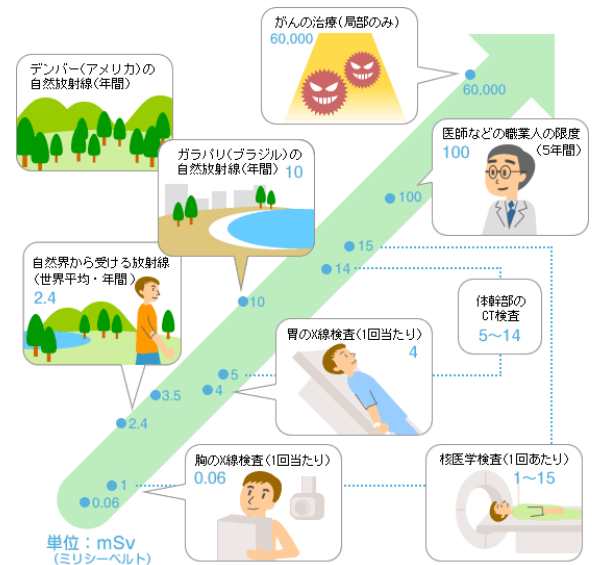
【骨シンチグラフィ Q&A】

Q. RI 検査薬の副作用はないの？

A. どんなお薬にも副作用はつきものですが、骨シンチに使われる検査薬の量は 1.5～2cc とわずかな量であり、RI 薬品製造会社の報告では 75 万件検査を行って、わずか 31 件(0.004%)しか起こっていません。その内容も吐き気、悪心、発疹とのことでした。万が一副作用が起こってしまった場合、迅速かつ最善の処置を行いますので安心して検査を受けてください。

Q. 被ばくはどれだけするの？

A. 核医学検査では検査の種類によって 1～15 ミリシーベルトの被ばくが生じます。骨シンチグラフィでは約 2 ミリシーベルト程度の被ばくとなります。一方、病院で受ける検査による被ばく以外にも、右の図のように普段生活しているだけでも被ばくが生じています。1 年間普通に生活しても、自然界から受ける被ばくが約 2.4 ミリシーベルトとなっています。この被ばく線量で、身体に影響が出る事はありませんので安心して検査を受けられて下さい。



参考資料: 日本メジフィジックス株式会社ホームページ

核医学検査の安全性

<https://www.nmp.co.jp/member/kakuigaku/safe.html>

Q. 被ばくが少ないことはわかったけど、少しでも被ばくを減らすことはできないの？

A. 骨シンチでは骨に取り込まれなかった薬は尿とともに膀胱に集まります。検査前、検査後も頻回にトイレに行き不必要なお薬を尿とともに出して下さい。水分をこまめに摂っていただくことより効果的です。

Q. なぜ検査直前にトイレに行かなければならないの？

A. 骨に取り込まれなかったお薬は尿とともに膀胱に集まります。尿が溜まったまま撮影すると左の写真のように骨盤内が見えにくくなることがあるので、できるだけ検査直前にトイレに行ってくださいようお願いしています。



膀胱に尿が溜まった状態

膀胱に尿がない状態